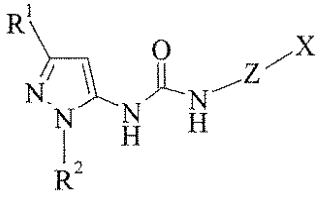
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公表番号】特表2009-513649(P2009-513649A)
【公表日】平成21年4月2日(2009.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2009-013
【出願番号】特願2008-537914(P2008-537914)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 401/12 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/496 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/10 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/16 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 7/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/12 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/16 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/14 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4545 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 409/14 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 401/12 ＣＳＰ
Ａ６１Ｋ 31/496
Ａ６１Ｐ 43/00 １１１
Ａ６１Ｐ 35/00
Ａ６１Ｐ 35/04
Ａ６１Ｐ 19/02
Ａ６１Ｐ 29/00 １０１
Ａ６１Ｐ 29/00
Ａ６１Ｐ 17/00
Ａ６１Ｐ 1/04
Ａ６１Ｐ 9/00
Ａ６１Ｐ 9/10 １０３
Ａ６１Ｐ 9/04
Ａ６１Ｐ 9/10 １０１
Ａ６１Ｐ 37/06
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 25/16

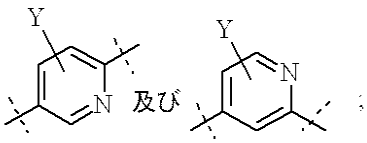
Ａ６１Ｐ　7/00
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　31/16
Ｃ０７Ｄ 401/14
Ａ６１Ｋ　31/4545
Ｃ０７Ｄ 409/14

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月4日(2009.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉで表される化合物
【化１】

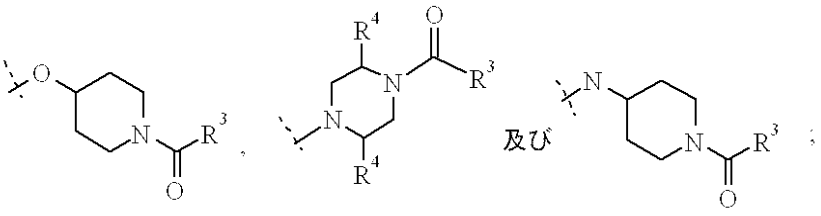


（Ｉ）

（式中、Ｚは以下からなる群から選択され、
【化２】



Ｘは以下からなる群から選択され、
【化３】



(i)　(ii)　(iii)

R^1はハロ基及びC_1－C_4アルキルハロ基からなる群から選択される１～６個の置換基で任意に置換されてもよいC_1－C_7アルキル基であるか、C_1－C_4アルキル基及びトリフルオロメチル基からなる群から選択される１又は２個の置換基で任意に置換されてもよいC_3－C_6シクロアルキル基であるか、又はトリメチルシリル基であり、
R^2はC_1－C_4アルキル基で任意に置換されてもよいフェニル基であるか、又はC_1－C_4アルキル基で任意に置換されてもよいピリジニル基であり、Ｙは水素、C_1－C_4アルキル基、ハロ基又はC_1－C_4アルキルハロ基であり、
R^3はC_3－C_6シクロアルキル基で任意に置換されてもよいC_1－C_7アルキル基であるか、C_1－C_4アルコキシ基であるか、C_1－C_4アルキルハロ基であるか、C_1－C_4アルキル基及びトリフルオロメチル基からなる群から選択される１～４個の置換基で任

意に置換されてもよいC_3－C_6シクロアルキル基であるか、又は、ピリジル基、フェニル基若しくはチエニル基であって、それらの各々が、ハロ基、シアノ基、C_1－C_4アルキル基、C_1－C_4アルキルハロ基及びC_1－C_4アルコキシ基からなる群から選択される第１の置換基で任意に置換され、C_1－C_4アルキル基及びハロ基からなる群から選択される第２の置換基で更に任意に置換されてもよく、
R^4は水素又はC_1－C_4アルキル基である）、
又はその薬理学的に許容できる塩。
【請求項２】
薬理学的に許容できる賦形剤、担体又は希釈剤との組合せで請求項１記載の化合物を含んでなる医薬用製剤。
【請求項３】
薬理学的に許容できる希釈剤、担体又は賦形剤との組合せで請求項１記載の化合物を含んでなる、癌治療用の医薬組成物。